

会計名			農業用施設等補修事業				担当部	水資源部		
一般会計							担当課	雨水対策課		
款	項	目					担当係	施設管理係		
6	1	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業環境							
		基本施策	農業							
		施策の内容	生産基盤の強化と保全							
	目的	たん水被害を防止するため、農業用排水機場等の施設の適正な維持管理を行うことで、農業生産性の向上及び安定を図る。				主たる内容	農業用排水路及び農業用排水機場の浚渫工事、補修工事及び修繕を行う。			
		位置づけ	関連計画							
		根拠法令								
		対象者	市民		事業期間		～			
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		・農業用排水路等の浚渫工事 3箇所 ・農業用排水路の補修工事 4箇所 ・農業用排水機場の修繕 5箇所		・農業用排水路等の浚渫工事 4箇所 ・農業用排水路の補修工事 5箇所 ・農業用排水機場の修繕 7箇所 (R5繰越分) ・今川排水機場 ポンプ吸気弁他修繕		・農業用排水路等の浚渫工事 2箇所 ・農業用排水路の補修工事 4箇所 ・農業用排水機場の改修・補修工事 8箇所 ・弁天排水機場照明機器LED 化工事 (R6繰越分) ・西永井田地区排水路工事		・農業用排水路等の浚渫工事 ・農業用排水路の補修工事 ・農業用排水機場の改修・補修工事		
成果		農業用排水機場及び農業用排水路の浚渫を計画的に実施したことや、迅速に補修工事等を実施したことにより、本来の排水機能の確保を図った。								
課題		施設の老朽化に伴い補修費が増加するため、計画的に工事を行う必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標		浸水対策工事箇所数（箇所）				—	0	1	1	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		5年度 (決算)	6年度 (決算)	7年度 (決算)	8年度 (予算)	7年度 事業費内訳		
	事業費 ①		27,027	45,195	38,305	19,900	合計	38,304,573 円		
	財源	特定財源	3,916	18,110	25,659	5,524	工事請負費	33,654,200 円		
		一般財源	23,111	27,085	12,646	14,376	補償、補填及び賠償金	4,650,373 円		
	職員人件費 ②		9,591	10,353	10,750	8,720				
	総事業費 (①+②)		36,618	55,548	49,055	28,620				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		土地改良事業費補助金 前年度繰越金				
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			農業用施設等補修事業		担当部	水資源部	
一般会計					担当課	雨水対策課	
款	項	目			担当係	施設管理係	
6	1	5					
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由		
		必要性	- 法的業務 - 市民ニーズ、社会需要 - 市民生活上必要である など	高い	農業用排水機場や農業用排水路の浚渫と補修工事を行うことにより、たん水被害を防止することができるため、市民生活の安全性が高まる事業である。		
		効率性	- コストの節減、費用対効果 - 執行体制の効率性 - 手段の最適性 など	普通	県費補助を活用して計画的に農業用排水機場の補修工事を行い、必要最小限の工事により機能を確保することで、コストの縮減に努めている。		
		妥当性	- 市が主体となって実施すべき事業であるか - 総合計画との整合性 など	高い	農業用排水機場は農地や住宅地の浸水防止に直結する施設であることから、市が主体となって実施すべきである。老朽化した排水路等の改修・修繕を行い農業用施設の保全を図る必要がある。		
		施策への貢献度	- 施策への貢献度 - 目標達成度 - 市民サービスへの効果 など	高い	農業用施設を計画的に改修することにより、効率的な農業経営に寄与する事業である。		
		今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
		・ 農業用排水機場の点検結果を更新計画に反映したのち耐用年数を考慮して、ポンプ等機器の取替及び施設の更新を図る必要がある。					

会計名			県営たん水防除事業（井ヶ谷地区）				担当部		水資源部			
一般会計							担当課		雨水対策課			
款							項目		担当係		施設管理係	
6							1		5			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野		産業環境								
		基本施策		農業								
		施策の内容		生産基盤の強化と保全								
	目的		農業用排水機場等の改修を行い、恒久的なたん水防止対策を図る。			主たる内容		井ヶ谷排水機場を常に安全かつ適正に稼働できるよう改修を行う。 ○事業主体 愛知県 ○事業費負担割合 国：50%、県：37% 市：13%				
	位置づけ		関連計画					刈谷市国土強靱化地域計画、境川・猿渡川流域水害対策計画、境川水系流域治水プロジェクト				
			根拠法令			土地改良法						
	対象者		市民			事業期間		令和3年度～令和15年度				
	実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☒ その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画				
		・事業負担金 全体実施設計		・事業負担金 全体実施設計		・事業負担金 全体実施設計 用地買収		・事業負担金 道路拡幅工 機場工				
成果		令和8年度以降の工事着手に向け、用地買収及び排水機場の詳細設計が完了した。										
課題												
指標名称（単位）				実績値			目標値					
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度				
活動指標		事業進捗率（%）				2.6	5.3	12.0	22.1	31.4		
活動指標												
他市との比較検証												
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳				
	事業費 ①		1,187	2,600	33,280	15,600	合計 33,279,880 円					
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 33,279,880 円					
		一般財源	1,187	2,600	33,280	15,600						
	職員人件費 ②		1,304	1,354	1,406	1,016						
	総事業費（①＋②）		2,491	3,954	34,686	16,616						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称						
		7年度までの累積事業費		0								
9年度以降の事業費見込		0										

会計名			県営たん水防除事業（井ヶ谷地区）	担当部	水資源部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	施設管理係
6	1	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	老朽化した施設を更新することにより、たん水被害を防止することができるため、市民生活の安全性が高まる事業である。
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	国庫補助を活用した県営事業であり、市の負担軽減が図れるため、事業進捗や経済性が高く効率的な事業である。
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	県営事業であるが、土地改良事業であることから、合意のもと進める必要があり、市が主体となって調整を行い、事業の進捗を図る必要がある。
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	早期に整備を行うことにより、市民サービスの向上に大きく貢献できる。
		今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止	
・ 事業効果を高めるため、早期完了に向け関係機関と協議を行う必要がある。					

会計名			河川施設等補修事業				担当部		水資源部											
一般会計							担当課		雨水対策課											
款							項		目		担当係		施設管理係							
8							3		1											
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野		都市基盤																
		基本施策		治水・水辺環境																
		施策の内容		河川施設等の改修																
	目的		排水機場と排水路の排水能力の保持及び衛生面の向上を図り、浸水被害の防止や、市民生活の安全性を確保する。				主たる内容		準用河川や排水路、排水機場の浚渫と、準用河川や排水路の緊急修繕、排水機場や樋門などの補修工事を行う。											
	位置づけ		関連計画																	
			根拠法令																	
	対象者		市民				事業期間		～											
	実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他																	
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績			7年度実績			8年度計画										
		・準用河川等浚渫工事 14箇所 ・準用河川等改修工事 4箇所 ・準用河川等補修工事 16箇所 ・排水機場の修繕 8箇所		・準用河川等浚渫工事 17箇所 ・準用河川等補修工事 17箇所 ・排水機場の修繕 6箇所 ・準用河川小山川、法信川の測量設計業務委託（R5繰越分） ・準用河川法信川改修工事			・準用河川等浚渫工事 17箇所 ・準用河川等補修工事 19箇所 ・排水機場の修繕 5箇所 ・浜田第二排水機場照明機器LED化工事			・準用河川等浚渫工事 ・準用河川等改修工事 ・準用河川等補修工事 ・排水機場の修繕										
成果		河川施設（準用河川、排水路、排水機場）の浚渫工事を計画的に実施したことや、迅速に河川施設の補修工事等を実施したことにより、本来の排水機能の確保を図った。																		
課題		施設の老朽化に伴い補修費が増加するため、工事費の平準化を図る必要がある。																		
指標名称（単位）					実績値			目標値												
					5年度			6年度			7年度			8年度			10年度			
指標																				
指標																				
他市との比較検証																				
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）		6年度（決算）		7年度（決算）		8年度（予算）		7年度事業費内訳								
	事業費 ①		71,475		115,856		47,908		59,000		合計 47,908,300 円 工事請負費 47,908,300 円									
	財源	特定財源	38,095		83,004		32,241		42,305											
		一般財源	33,380		32,852		15,667		16,695											
	職員人件費 ②		9,975		11,547		10,336		9,313											
	総事業費（①＋②）		81,450		127,403		58,244		68,313											
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称														
		7年度までの累積事業費		0		河川占用料 市町村振興協会基本交付金														
		9年度以降の事業費見込		0																

会計名			河川施設等補修事業	担当部	水資源部	
一般会計				担当課	雨水対策課	
款	項	目		担当係	施設管理係	
8	3	1				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	河川用排水機場や準用河川等の浚渫と補修工事を行うことにより、都市部の浸水被害を防止することができるため、市民生活の安全性が高まる事業である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	保守点検結果等に基づき、必要最小限の工事により機能を確保することで、コストの縮減に努めている。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	河川用排水機場は市民生活の浸水防止に直結する施設であることから、市が主体となって実施するべきである。老朽化した準用河川等の改修・修繕を行い排水施設の保全を図る必要がある。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	河川用排水施設を計画的に改修することにより、浸水被害低減に寄与する事業である。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	・ 河川用排水機場の点検結果を基に、耐用年数を考慮して計画的にポンプ等機器の取替及び施設の更新を図る必要がある。					

会計名			雨水貯留浸透事業				担当部		水資源部	
一般会計							担当課		雨水対策課	
款	項	目					担当係		計画係	
8	3	2								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤						
		基本施策	治水・水辺環境						
		施策の内容	雨水対策（内水対策）						
	目的	既存施設の利活用による雨水貯留浸透施設の整備を促進し、河川への流出量及び浸水被害の軽減を図る。				主たる内容	雨水対策マスタープラン(平成27年度策定)に基づく流出抑制施設の整備を行う。 ○貯留浸透施設整備 ・ため池貯留 ・水田貯留		
		位置づけ	関連計画	刈谷市雨水対策マスタープラン、境川・猿渡川流域水害対策計画					
		根拠法令	河川法、特定都市河川浸水被害対策法						
		対象者	市民		事業期間		平成28年度～令和27年度		
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							

BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
	・水田貯留施設整備工事 5箇所		・水田貯留施設整備工事 9箇所 (R5繰越分) ・西池改修工事（調整柵改修）		・水田貯留施設整備工事 6箇所 (R6繰越分) ・雨水調整池調査測量設計 (沼田池)		・水田貯留施設整備工事 20箇所 ・水田貯留模型作成			
	成果	水田を活用した貯留施設を整備したことにより、下流の河川等への雨水流出量の抑制を図ることができた。								
	課題									
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	活動指標	総合治水対策量の内、既存施設の利活用分6.72万㎡の進捗率（％）				1.0	8.1	8.7	9.7	15.8
	指標									
	他市との比較検証									

C 事業コスト	単位：千円		5年度 (決算)	6年度 (決算)	7年度 (決算)	8年度 (予算)	7年度 事業費内訳		
	事業費 ①		7,012	18,281	17,945	2,386	合計	17,944,729 円	
	財源	特定財源	0	11,846	16,306	0	委託料	16,305,729 円	
		一般財源	7,012	6,435	1,639	2,386	工事請負費	1,639,000 円	
	職員人件費 ②		898	1,672	2,481	2,286			
	総事業費 (①+②)		7,910	19,953	20,426	4,672			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0		前年度繰越金			
		9年度以降の事業費見込		0					

会計名			雨水貯留浸透事業	担当部	水資源部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	計画係
8	3	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	特定都市河川浸水被害対策法に定められた流域水害対策計画や市の雨水対策マスタープランに基づく事業であり、水害リスクの低減を図ることで、市民の安心安全が高まるため、必要性が高い事業である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	既存の水田やため池等を活用し雨水を貯留するため、安価で効果的に進めることができる。 一方で、実施にあたり農業関係者等との綿密な協議・調整に時間を要する事業である。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	河川流域の最下流に位置する刈谷市の地形特性から、市が積極的に事業を推進することで、市民の安心安全と財産を守ることができるため、妥当性の高い事業である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	近年、局地的な集中豪雨が頻発しており、各種対策を進めることにより、床上浸水などの水害の危険性が少なくなり、市民生活の安心安全を高めることができる。
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止		
農業関係者や土地所有者等と協議しながら事業進捗を図る。					

会計名			準用河川草野川改修事業				担当部	水資源部			
一般会計							担当課	雨水対策課			
款	項	目					担当係	工務係			
8	3	2									
PLANハ計画V	事業概要	総合計画 施策体系	分野	都市基盤							
			基本施策	治水・水辺環境							
			施策の内容	河川施設等の改修							
		目的	流域内の宅地化が進み雨水流出量が増加したため、河川改修を行い浸水被害の解消を図るとともに、魚類・昆虫類等の自然とのふれあいを可能とする河川空間を創造する。				主たる内容	○準用河川草野川の改修 ・改修延長 505m ・調整池整備 2箇所			
			位置づけ	関連計画	刈谷市雨水対策マスタープラン・境川猿渡川流域水害対策計画						
			根拠法令	河川法・特定都市河川浸水被害対策法							
		対象者	市民			事業期間	平成6年度～令和16年度				
		実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
		B事業実績Oハ実施V	実績	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画	
				・調整池A護岸工事（草野池側）86m ・調整池B基本設計		・調整池A護岸工事（草野池側）120m		・調整池A護岸工事（調整池A側）155m		・調整池A護岸工事（調整池A側）17m（坂路）30mほか	
成果	調整池の護岸工事を行うことで、治水安全度の向上を図った。										
課題	調整池B整備に向けた関係機関との調整が必要である。										
指標名称（単位）				実績値		目標値					
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
活動指標	河川改修率（％）			91.1	91.1	91.1	91.1	91.1			
活動指標	調整池A整備率（％）			48.5	57.4	62.4	74.9	100			
他市との比較検証											
C事業コスト	コスト			単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
		事業費①		58,076	66,919	59,712	76,500	合計	59,712,400 円		
		財源	特定財源	15,000	17,000	15,000	73,966	工事請負費	59,712,400 円		
			一般財源	43,076	49,919	44,712	2,534				
		職員人件費②		3,184	3,424	3,473	3,556				
		総事業費（①＋②）		61,260	70,343	63,185	80,056				
		建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
			7年度までの累積事業費		0		準用河川改修事業費補助金（県）				
			9年度以降の事業費見込		0						

会計名			準用河川草野川改修事業	担当部	水資源部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	工務係
8	3	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由
		必要性	- 法的業務 - 市民ニーズ、社会需要 - 市民生活上必要である など	高い	浸水被害解消のため、河川改修を実施する必要がある。
		効率性	- コストの節減、費用対効果 - 執行体制の効率性 - 手段の最適性 など	普通	経済性を考慮し限られた用地で、河川の流下能力と洪水調整機能の向上に努めている。
		妥当性	- 市が主体となって実施すべき事業であるか - 総合計画との整合性 など	高い	準用河川草野川の管理者は市であることから、市で実施することが妥当である。
		施策への貢献度	- 施策への貢献度 - 目標達成度 - 市民サービスへの効果 など	高い	浸水被害の解消を図ることにより、市民の安心安全に貢献している。
		今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止	
早期完了に向け、関係機関と協議しながら事業進捗を図る。					

会計名			農業用施設等管理事業				担当部		水資源部			
一般会計							担当課		雨水対策課			
款							項目		担当係		施設管理係	
6							1		5			
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野		産業環境								
		基本施策		農業								
		施策の内容		生産基盤の強化と保全								
	目的		たん水被害を防止するため、農業用排水機場などの施設の維持管理を図り、農業生産性の向上及び安定を図る。				主たる内容		農業用排水機場などの施設を常に安全かつ適正に移動・運用できるように保守管理業務などを行う。			
	位置づけ											
	関連計画											
	根拠法令											
	対象者		市民				事業期間		～			
	実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画				
・排水機場等の保守点検 ・排水機場の清掃委託（塵芥処理） ・電気保安業務委託 ・排水路除草委託		・排水機場等の保守点検 ・排水機場の清掃委託（塵芥処理） ・電気保安業務委託 ・排水路除草委託		・排水機場等の保守点検 ・排水機場の清掃委託（塵芥処理） ・電気保安業務委託 ・排水路除草委託		・排水機場等の保守点検 ・排水機場の清掃委託（塵芥処理） ・電気保安業務委託 ・排水路除草委託						
成果		計画的に保守点検等を実施したことで、施設及び機械設備の円滑な維持管理が図れた。										
課題		排水路等の草刈り及び清掃の要望が増加しており、迅速に対応する必要がある。										
指標名称（単位）				実績値			目標値					
				5年度			6年度					
				7年度			8年度					
				10年度								
指標												
指標												
他市との比較検証												
C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）		6年度（決算）		7年度（決算）		8年度（予算）		7年度事業費内訳	
	事業費 ①		40,622		38,757		41,098		44,946		合計 41,097,502 円	
	財源	特定財源	17,128		17,958		19,594		17,968		需用費 16,150,029 円	
		一般財源	23,494		20,799		21,504		26,978		役務費 12,408,743 円	
	職員人件費 ②		6,292		5,575		5,954		6,350		委託料 12,443,910 円	
	総事業費（①+②）		46,914		44,332		47,052		51,296		使用料及び賃借料 2,860 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称						
		7年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料						
		9年度以降の事業費見込		0		農業用排水機維持管理費補助金						
	原材料費		91,960 円									

会計名			農業用施設整備事業				担当部		水資源部										
一般会計							担当課		雨水対策課										
款							項		目		担当係		施設管理係						
6							1		5										
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野		産業環境															
		基本施策		農業															
		施策の内容		生産基盤の強化と保全															
	目的		農業用排水機場を改修し、その機能保持と性能の向上及び耐用年数を確保することにより、たん水被害の防止を図る。				主たる内容		土地改良施設維持管理適正化事業の助成制度を活用して、農業用排水機場等の実施設計及び排水ポンプ設備などの分解整備や改修等を行う。										
	位置づけ	関連計画																	
		根拠法令																	
	対象者		市民				事業期間		～										
	実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他																
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画											
		・適正化事業拠出金（負担金）（R4繰越分） ・中川樋門 ゲート更新		・弁天排水機場の除塵機整備 ・泉田排水機場の除塵機整備ほか ・適正化事業拠出金（負担金）（R5繰越分） ・小山排水機場 ポンプ整備		・今川排水機場の電源盤更新 ・泉田排水機場の電源盤更新 ・適正化事業拠出金（負担金）		・中市流作新田排水機場の1号ポンプ整備 ・適正化事業拠出金（負担金）											
成果		排水機場の電源盤の更新を行い、本来の排水機能の確保を図った。																	
課題		施設の老朽化に伴い整備費が増加するため、工事費の平準化を図る必要がある。																	
指標名称（単位）				実績値			目標値												
				5年度			6年度			7年度			8年度			10年度			
活動指標		改修ポンプ数（基）		0			1			0			1			2			
活動指標		改修排水機場数（箇所）		0			3			2			0			3			
他市との比較検証																			
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）		6年度（決算）		7年度（決算）		8年度（予算）		7年度事業費内訳							
	事業費 ①		34,815		226,315		53,672		41,998		合計 53,672,158 円								
	財源	特定財源	19,800		192,886		29,000		20,000		委託料 1,672,000 円								
		一般財源	15,015		33,429		24,672		21,998		工事請負費 36,107,500 円								
	職員人件費 ②		4,450		4,619		3,556		3,217		負担金、補助及び交付金 15,892,658 円								
	総事業費（①+②）		39,265		230,934		57,228		45,215										
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称													
		7年度までの累積事業費		0		土地改良施設維持管理適正化事業費交付金													
		9年度以降の事業費見込		0															

会計名			河川施設等管理事業				担当部		水資源部	
一般会計							担当課		雨水対策課	
款	項	目					担当係		施設管理係	
8	3	1								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤						
		基本施策	治水・水辺環境						
		施策の内容	河川施設等の改修						
	目的	浸水被害を防止するため、排水機場などの河川施設の適正な維持管理を図り、市民生活の向上及び安定を図る。				主たる内容	排水機場などの河川施設を安全かつ適正に稼動・運用できるように保守管理業務などを行う。		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	市民			事業期間	～			
実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								

BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
	・河川施設の保守点検等 ・排水機場の清掃委託（塵芥処理） ・電気保安業務委託 ・河川施設の除草委託 ・排水ポンプ車の運用委託		・河川施設の保守点検等 ・排水機場の清掃委託（塵芥処理） ・電気保安業務委託 ・河川施設の除草委託 ・排水ポンプ車の運用委託		・河川施設の保守点検等 ・排水機場の清掃委託（塵芥処理） ・電気保安業務委託 ・河川施設の除草委託 ・排水ポンプ車の運用委託		・河川施設の保守点検等 ・排水機場の清掃委託（塵芥処理） ・電気保安業務委託 ・河川施設の除草委託 ・排水ポンプ車の運用委託		
	成果	計画的に保守点検等を実施したことで、施設及び機械設備の円滑な維持管理が図れた。							
	課題	排水路等の草刈り及び清掃の要望が増加しており、迅速に対応する必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	指標								
	指標								
	他市との比較検証								

C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		88,206	90,935	94,803	102,592	合計	94,802,743 円	
	財源	特定財源	5,424	5,083	5,464	5,165	報償費	1,089,224 円	
		一般財源	82,782	85,852	89,339	97,427	需用費	16,644,178 円	
	職員人件費 ②		6,215	5,973	5,954	5,926	役務費	24,005,536 円	
	総事業費（①＋②）		94,421	96,908	100,757	108,518	委託料	52,998,069 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		使用料及び賃借料	29,700 円
		7年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料 市町村権限移譲交付金 排水機場維持管理受託収入		原材料費	36,036 円
		9年度以降の事業費見込		0					

会計名			雨水貯留浸透施設設置補助事業				担当部		水資源部	
一般会計							担当課		雨水対策課	
款	項	目					担当係		計画係	
8	3	2								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤					
		基本施策	治水・水辺環境					
		施策の内容	雨水対策（内水対策）					
	目的	雨水貯留浸透施設の設置者に対し、補助金を交付することにより、設置件数を増加させることで、雨水流出の抑制を図る。			主たる内容	定められた額と設置費用の2/3のいずれか低い額を補助する。補助金の上限は、一団の土地につき20万円まで。 ○補助対象施設 雨水貯留施設 （2基まで1基当たり上限25千円） 雨水浸透ます 雨水浸透管 雨水浸透側溝 透水性舗装		
		位置づけ						
		関連計画	刈谷市雨水対策マスタープラン					
		根拠法令	刈谷市雨水貯留浸透施設設置事業補助金交付要綱					
	対象者	市民、事業者			事業期間	平成16年度～		
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他						

BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
	・設置件数 6件 雨水貯留施設 5件 浸透枳 1件 ・補助金額 165,000円		・設置件数 12件 雨水貯留施設 14件 ・補助金額 257,400円		・設置件数 10件 雨水貯留施設 11件 ・補助金額 198,300円		設置件数 17件		
	成果	・新たに11件の雨水貯留施設が設置されたことにより、雨水流出抑制効果が得られた。							
	課題	・ホームページ、市民だより、出前講座等による雨水貯留施設設置の啓発活動をより効率的に行えるよう検討し、より多くの方々が利用しやすくなるような補助制度の検討を行う必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動指標	雨水貯留浸透施設の年間設置数（件）			6	12	10	17	20
	指標								
	他市との比較検証	・雨水貯留浸透施設の補助金額は、補助率と上限額を比較して、低い額を支給している。							
		市名	碧南市	安城市	知立市	高浜市	刈谷市		
	補助率（設置費用を対象）	1/2	1/2	2/3	1/2	2/3			
	補助額（200Lタンク）	25,000円	25,000円	25,000円	22,000円	25,000円			

C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		165	257	198	700	合計	198,300 円	
	財源	特定財源	20	89	0	150	負担金、補助及び交付金	198,300 円	
		一般財源	145	168	198	550			
	職員人件費 ②		898	1,633	1,654	847			
	総事業費（①＋②）		1,063	1,890	1,852	1,547			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0					
		9年度以降の事業費見込		0					

会計名			排水機場改修事業				担当部	水資源部	
一般会計							担当課	雨水対策課	
款	項	目					担当係	施設管理係	
8	3	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤						
		基本施策	治水・水辺環境						
		施策の内容	河川施設等の改修						
	目的	排水機場の機械設備等を改修し、常に安定した排水能力を保持するとともに、長寿命化を図り、浸水被害を防止する。				主たる内容	排水機場の機器の更新やポンプの分解整備等を行う。		
		位置づけ							
		関連計画							
	根拠法令								
	対象者	市民				事業期間	～		
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画	
(R4繰越分) ・高松排水機場 3号ポンプ分解整備 ・浜田第一排水機場 空気圧縮機ほか更新 ・三ツ又排水機 水位計更新 ・北浦排水機場 電動機更新		・高須排水機場 受電設備更新 (R5繰越分) ・高須排水機場 ポンプ盤ほか更新 ・湯揚排水機 ポンプ盤更新		・弁天第2排水機場 コンベアゴム更新 ・弁天第2排水機場 自家発電機ほか分解整備 ・浜田第1排水機場 2号エンジン分解整備 (R6繰越分) ・高須排水機場 受電設備更新		・小垣江排水機場 3号ポンプ分解整備 ・弁天第2排水機場 入出力制御装置更新 (R7繰越分) ・弁天第2排水機場 自家発電機ほか分解整備 ・浜田第1排水機場 2号エンジン分解整備			
成果		弁天第2排水機場他1施設の設備を更新したことにより、安定した排水機能の確保を図った。							
課題		施設の老朽化に伴い、工事費の平準化及び更新計画の検討が必要である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
活動指標		改修ポンプ数（基）			1	-	-	1	2
活動指標		改修排水機場数（箇所）			4	2	2	3	2
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度 事業費内訳	
	事業費 ①		69,130	82,970	99,531	112,195	合計	99,531,300 円	
	財源	特定財源	63,550	82,970	68,200	48,195	委託料	8,250,000 円	
		一般財源	5,580	0	31,331	64,000	工事請負費	87,505,000 円	
	職員人件費 ②		5,371	5,176	3,556	3,640	備品購入費	3,776,300 円	
	総事業費（①+②）		74,501	88,146	103,087	115,835			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0	前年度繰越金				
		9年度以降の事業費見込		0					

会計名			逢妻町地内排水路改修事業				担当部		水資源部			
一般会計							担当課		雨水対策課			
款							項目		担当係		工務係	
8							3		2			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野		都市基盤								
		基本施策		治水・水辺環境								
		施策の内容		河川施設等の改修								
	目的		排水路の機能向上を図り、浸水被害の防止 や市民生活の安全性を確保する。			主たる 内容	○逢妻町地内排水路の改修 ・改修延長 200m					
	位置 づけ	関連計画										
		根拠法令										
		対象者		市民			事業期間		令和7年度 ～ 令和8年度			
	実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画				
						・排水路改修工事 60m		・排水路改修工事 130m （R7繰越分） ・排水路改修工事 10m				
成果		排水路を改修することで、排水機能の向上を図った。										
課題												
指標名称（単位）				実績値			目標値					
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度				
活動 指標		排水路改修率（％）			—	—	30.0	100.0	—			
活動 指標												
他市との 比較検証												
C 事業コスト		単位：千円		5年度 （決算）	6年度 （決算）	7年度 （決算）	8年度 （予算）	7年度 事業費内訳				
	事業費 ①		0	0	26,400	130,600	合計 26,400,000 円					
	財 源	特定財源	0	0	0	50,600	工事請負費 26,400,000 円					
		一般財源	0	0	26,400	80,000						
		職員人件費 ②		0	0	1,736	1,863					
	総事業費（①＋②）		0	0	28,136	132,463						
	建設 事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称						
		7年度までの累積事業費		0								
		9年度以降の事業費見込		0								

会計名			雨水管管理事業				担当部		水資源部	
一般会計							担当課		雨水対策課	
款	項	目					担当係		工務係	
8	5	1								

P
L
A
N
計
画

A
事
業
概
要

V

位置 づけ	総合計画 施策体系	分野	都市基盤				
		基本施策	治水・水辺環境				
		施策の内容	雨水対策（内水対策）				
	目 的	雨水管の管理を適正に行い、雨水排水機能の保全を図る。		主 た る 内 容	雨水管の修繕及び清掃を行う。		
	関連計画						
	根拠法令	下水道法					
	対象者	市民		事業期間	～		
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他					

B
D
O
実
施

事
業
実
績

V

5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
・雨水管調査 1箇所 ・雨水管修繕 1箇所		・雨水管調査 1箇所 ・雨水管清掃 1箇所 ・雨水管修繕 3箇所		・雨水管清掃 1箇所 ・雨水管修繕 2箇所		・雨水管調査 ・雨水管清掃 ・雨水管修繕		
成果	雨水管渠内の調査や破損箇所の修繕を適切に行った。							
課題	施設の老朽化に伴い補修費が増加するため、計画的に工事を行う必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値	
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
指標								
指標								
他市との 比較検証								
単位：千円		5年度 （決算）	6年度 （決算）	7年度 （決算）	8年度 （予算）	7年度 事業費内訳		
事業費 ①		1,276	1,586	1,217	1,655	合計 1,217,420 円		
財 源	特定財源	0	0	0	0	需用費 880,000 円		
	一般財源	1,276	1,586	1,217	1,655	役務費 12,920 円		
職員人件費 ②		4,719	4,221	2,646	2,709	委託料 324,500 円		
総事業費（①＋②）		5,995	5,807	3,863	4,364			
建 設 事 業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称				
	7年度までの累積事業費		0					
	9年度以降の事業費見込		0					

会計名			雨量観測システム管理事業				担当部		水資源部		
一般会計							担当課		雨水対策課		
款	項	目					担当係		工務係		
9	1	4									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤								
		基本施策	治水・水辺環境								
		施策の内容	河川施設等の改修								
	目的	雨量観測システムの安定的な運用を図り、リアルタイムの気象情報を広く市民に公開する。				主たる内容	雨量観測システム保守管理				
		位置づけ									
		関連計画									
	根拠法令										
	対象者	市民				事業期間	平成25年度～				
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
・雨量計他機器保守管理委託 ・雨量観測システム保守管理委託 ・雨量計更新工事（北部市民センター、小垣江市民センター）		・雨量計他機器保守管理委託 ・雨量観測システム保守管理委託 ・雨量計更新工事（小山排水機場、東刈谷市民センター）		・雨量計他機器保守管理委託 ・雨量観測システム保守管理委託		・雨量計他機器保守管理委託 ・雨量観測機器更新工事					
成果		降雨量等の情報を市民に周知することができた。									
課題											
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
指標											
指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		6,551	3,766	2,735	2,520	合計 2,734,600 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料 2,734,600 円				
		一般財源	6,551	3,766	2,735	2,520					
	職員人件費 ②		921	1,115	1,075	1,185					
	総事業費（①＋②）		7,472	4,881	3,810	3,705					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0							
		9年度以降の事業費見込		0							